

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 22日

事業所名 しあわせ駅大野城

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		移転し、広くなった。活動的な児童が多い日は、公園やコミュニティーの体育館など地域資源を利用している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令に遵守し配置出来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	トイレに手すりを設置している。	移転したばかりなので、今後必要に応じて改修していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		昼礼や終礼で定期的に反省会を開き改善に繋げている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		スタッフ全員で、評価表の集計を確認している。改善可能な問題は、改善に向けて努力している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内研修など定期的実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ会議(昼礼等)で活動プログラムを決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないよう特に遊び(余暇)は工夫している。遊びを通して身体機能などの支援に繋がるように取組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		メンバーなど考慮し工夫している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		年齢/特性/体調/体力面などにより個々に柔軟に対応できるようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昼礼等で確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を行っている。また、引継ぎノートを活用するなど工夫している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々活動記録を残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在医療ケアを必要とする児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保護者からのお話や、資料を頂き情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			相談支援専門員を通し情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			コロナの影響で実施する機会がなかった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	例年は、地域のイベントに参加したり、近くの公園で一緒に遊ぶ機会を設けている。	コロナの影響で実施する機会が少なかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナの影響で協議会等の集まりがなかった。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎の際に意思疎通を実施している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			今後も研修等によりスタッフの知識獲得が必要。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			事業所移転により、内覧会は行えたが、保護者会はコロナの影響で定期的に行えなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		今後も真摯に対応出来るように努めたい。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログ等で発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個人情報などの問題もあり、難しい部分もある。また、コロナの関係であまり地域と交流できない状況であった。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		定期的に資料を配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内研修など定期的に実施している。	外部の研修にも参加していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在、身体拘束を必要とする児童がいない。必要な児童が出た場合は、対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約する際に、直接保護者へ確認し、アセスメントシートを配布し記入頂いている。	現在、該当する児童がいない。必要な児童が出た場合は、対応していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録として残し、共通理解出来るよう屋礼等で共有を行っている。	